

神奈川労働局「神奈川 介護施設 +SAFE 協議会」 異業種交流企画 —「京浜急行電鉄株式会社 久里浜工場」工場見学会—

神奈川労働局と県内介護施設事業者等が協同して設置している「**神奈川 介護施設 +SAFE 協議会**」では、異業種交流企画として、製造業の工場見学会を開催しました。



京急電鉄の前身である京浜電鉄創業時の車両「デ51形」前にて

1 開催の趣旨

介護施設では労働災害が増加傾向であり、中でも従業員の作業行動を起因とする労働災害である転倒災害及び腰痛災害が多発しており、これらの背景として、介護労働者の高齢化の割合が高いことによる身体機能の低下などが考えられ、特に介護施設では、「老老介護」が社会的にも問題となっております。

また、介護施設を始めとした第三次産業は、一般に、安全衛生活動の重要性の理解が第二次産業ほど進んでいないとされており、このような背景から、安全衛生管理の水準が高い製造業の事業場で、安全衛生活動の好取組を行っている京浜急行電鉄株式会社久里浜工場様にご協力いただき、異業種交流企画として、工場見学会を開催し、当局のホームページ等を通じ、安全衛生活動の好事例を介護施設に向けて情報発信することとしました。

2 工場見学会の概要

(1) 日時

令和6年2月9日（金） 14時00分から16時30分まで

(2) 実施場所

京浜急行電鉄株式会社 久里浜工場（横須賀市舟倉二丁目4番1号）

(3) 工場見学参加者

協議会メンバー8名、神奈川労働局2名、京急電鉄2名（計12名）

(4) 久里浜工場の概要

面積は約100,000㎡の広さを有し、自社の鉄道車両の検査、修繕、洗浄、塗装等の業務を行っている。

(5) 工場見学により確認された安全衛生対策

- ①通路のつまずきやすい突起物には黄色いペイントにより、「見える化」を図っている。
- ②黄色いペイントにより、通路や手すり等の明示を行っている。
- ③工場内の危険箇所等については、全般的に黄色いペイントにより統一された「見える化」が図られ、整然としており、見栄えが良い。(安全対策の基本といえる。)
- ④工場の敷地は地盤沈下が著しく、時間経過により、段差が生じてしまう。
現在、根本的対策として、地盤改良工事を順次実施中で、段差を解消する計画である。
- ⑤重量物取扱い工程にはバルンサー(助力装置)を設け、腰痛災害の防止に配慮している。
(介護施設でも介護用リフトの益々の導入が望まれる。)
- ⑥フォークリフトの所定の駐機位置がペイントにより指定されており、工場内の整理整頓が徹底されている。(所定の位置に物を配置することは安全の基本である。)

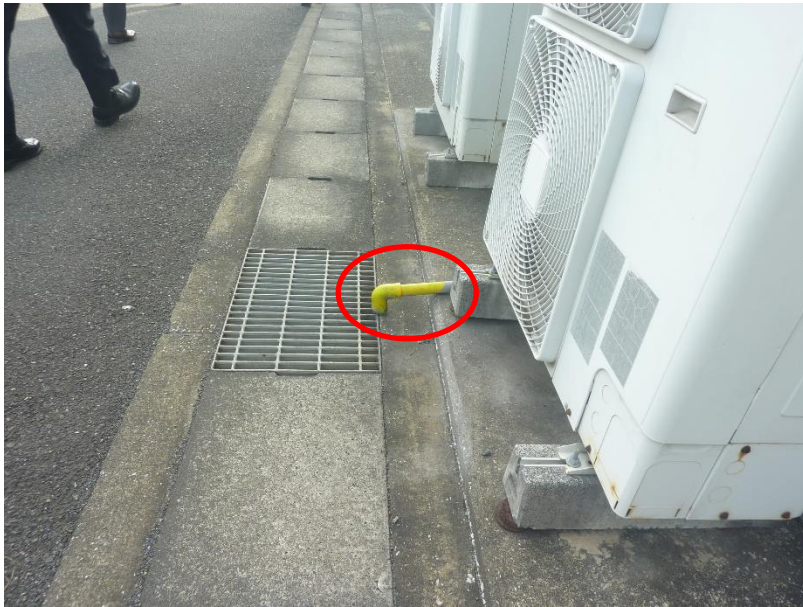
3 工場見学会の状況写真



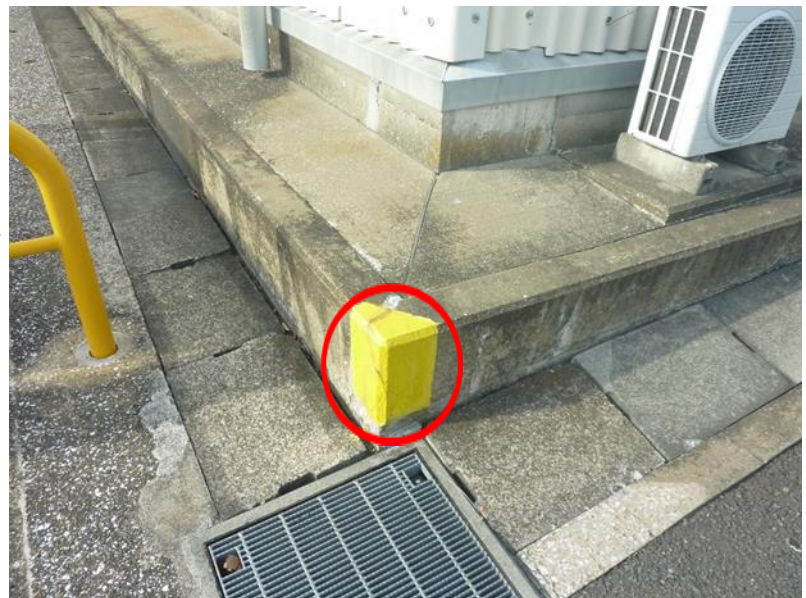
工場見学に先立ち、参加者が集まり、説明を受けているところです。

通路のつまずきやすい突起物には黄色いマーキングによる「見える化」を行い、転倒防止を図っている。(工場の敷地は地盤沈下が著しく、時間経過により、段差が生じてしまう。現在、根本的対策として、地盤改良工事を順次実施中である。)





通路のつまずきやすい突起物には黄色いマーキングによる「見える化」を行い、転倒防止を図っている。



通路のつまずきやすい段差には黄色いマーキングによる「見える化」を行い、転倒防止を図っている。



黄色いペイントにより、通路を明示することで「見える化」を図り、安全な通路を確保している。

黄色いペイントにより、通路及び手すりを明示することで「見える化」を図り、安全な通路を確保している。



サンドブラスト周りの側溝(段差)及び背後のホッパー点検台の手すりを、黄色くペイントし、踏み外し及び墜落防止のための「見える化」を図っている。

(なおグレーチング表面に細かい溝を設け、滑り止め対策も講じている。)

工場内は不等沈下により、通路に傾斜が生じ、通路周囲には段差が生じているが、黄色いペイントにより統一された「見える化」が図られ、整然としている。
(安全対策の基本といえる。)





工場内の墜落、転落、危険箇所及び昇降設備は、黄色いペイントにより統一され、整然としており、見栄えが良い。

重量物取扱い工程にはバルンサー（助力装置）を設け、腰痛災害の防止に配慮している。



フォークリフトの所定の駐機位置がペイントにより指定されており、工場内の整理整頓が徹底されている。（所定の位置に物を配置することは安全の基本である。）